



曲線を描き、伊藤美空さんのお父さんに指導を受けながら真剣に植えていく児童たち

## 田んぼの授業は楽しいな

### 緑海小学校5年生 田植えに挑戦

児童46人が楽しみにしていた田植えは、5月11日、緑海小学校5年生の伊藤美空さん宅の田んぼを借りて実施しました。この田植えは、『米について学ぶ』総合学習と、社会科の『地域の米と流通』についての学習を兼ねて毎年実施しています。児童の手で植えられた品種『ふさこがね』の苗は、刈り取りの時期まで子どもたちに見守られ、観察が続けられます。そして、秋には自分たちの手で稲を刈り、脱穀機で脱穀した後、おにぎりを作って食べるそうです。田植えを終えた児童たちは、ドロだらけになった靴と靴下を持って学校へ帰って行きました。

## ドロんこになっていいよ

### 第3回ドロリンピック

真行寺にある田植え直前の田んぼで、青空が広がるすがすがしい陽気の4月29日、親子連れ70人が参加して「第3回ドロリンピック」が開催されました。ひきそり、大根ぬきなどの競技が行われ、子どもも大人もみんな泥まみれになり楽しい笑い声をあげていました。この企画をしたドロリンピック実行委員会代表の野口さんは、「最近の子どもたちは自然に触れることが少なく、泥だらけになると叱られたりするので、今日ばかりは好きなだけ泥だらけになり大人も子どもも一緒に<sup>たわむ</sup>戯れてほしい。そして自然を満喫してほしいです」と話していました。



風船をしばしばに見立てて取り合うしば取り競技では、田んぼの中を縦横無尽に走り回った

## 歩きながら感じてみよう

### 第2回ぐるっと山武50kmウォーク

第2回ぐるっと山武50kmウォークは、4月5日、「ぐるっと山武50kmウォーク実行委員会」の主催で開催されました。2回目となるこの大会は、さんぶの森元気館をスタート・ゴールとする山武市一周50kmのコースで実施しました。今回は、8歳から77歳までの190人が参加。海岸線では車椅子のチャレンジもありました。参加者は、山の青葉、満開の桜、美しい海など、自然を満喫しながら長い道のりをひたすら歩き続けました。途中、豚汁やマッサージのサービスを受けながら、118名が完歩。辛くて大変な道のりでしたが、皆さんの達成感は大きかったようです。

【次回は10月4日(日)に開催を予定 関 市民自治支援課

☎(80)01511



早朝6時、さんぶの森元気館前をスタート